

第12 - 25号

2012年10月10日

**「異常時総合訓練」を10月23日(火)に海老名電車基地で実施**

～ 踏切での脱線事故を想定した復旧作業訓練に現業係員約400名が参加 ～

小田急電鉄株式会社(本社:東京都新宿区 社長:山木 利満)では、今年も10月23日(火)に、小田急線海老名駅隣接の海老名電車基地にて「異常時総合訓練」を実施します。

この「異常時総合訓練」は1962年から毎年実施しており、異常時における併発事故の防止と事故の早期復旧、運転事故防止意欲の高揚を目的とし、運転車両部、旅客営業部、工務部、電気部、複々線建設部の各現業係員約400名が参加する大規模な訓練です。

訓練当日は「列車が踏切で乗用車と接触し脱線」という事故を想定。実際に列車が脱線した状態をつくり、お客さまの避難誘導、負傷者の救出・応急処置、情報連絡、緊急出動や復旧作業など、関係機関と連携し、本番さながらの臨場感のある訓練を行います。

なお、同訓練は、海老名市消防署や海老名警察署と合同で実施いたします。

「異常時総合訓練」の概要は、次のとおりです。



本番さながらの臨場感のある訓練を実施(昨年の様子)

## 記

1. 日 時 2012年10月23日(火) 12時15分～15時15分(予定)  
予備日 2012年11月14日(水)
2. 場 所 海老名電車基地(小田急小田原線海老名駅西側)  
住所: 神奈川県海老名市上郷610
3. 参加人員 約400名  
運転車両部、旅客営業部、工務部、電気部、複々線建設部の現業の係員
4. 訓練内容 (1) 踏切事故が発生した際の応急処置と復旧訓練  
人命救助や適切なお客さまの避難誘導および二次災害の防止  
現地対策チームの役割分担による障害物の除去と早期復旧作業  
運転状況や復旧見込みなどの的確な情報提供とお客さま案内 など  
(2) 鉄道車両火災に対する初期消化訓練  
訓練は、海老名市消防署及び海老名警察署と合同で実施します。

### < 事故想定 >

小田原駅発、新松田駅行き上り各駅停車が、小田原線小田原駅～足柄駅間の踏切で、遮断桿を突破して踏切内に進入してきた自動車と接触。列車内に負傷者が出たほか、自動車が列車前面下部に食い込み、先頭車両が脱線。さらに、踏切保安装置、架線、レール、枕木などが破損した。

負傷者	自動車運転手	重傷	1名
	列車内のお客さま	軽傷	10名(車椅子でご利用のお客さま1名)

以 上